

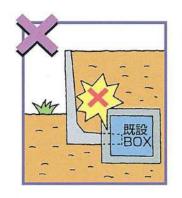
画期的工法発見 施工実績 拡大中!! 株式会社 赤羽コンクリート

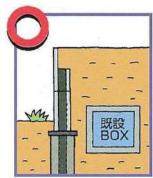
底版を持たない自立式擁壁工法。施工現場を選ばず、しかも経済的。

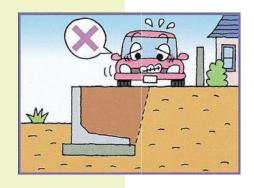
特徴

掘削幅の取れない現場で有効です。

L型擁壁にはフーチング(底版)があり、既設構造物等の障害物があると施工ができませんでした。また、将来下水管等を埋設する場合、フーチングが邪魔になってしまう場合もありました。フーチングレス・パネル工法なら、道路下占有空間が確保できます。









掘削したら車が通れないよ! 工事中は通行止めに しなくちゃいけないね



フーチングレス・パネル工法なら 通行止めにしないで工事ができる んだ!!これなら工事中、近隣の皆 様に最低限の迷惑で済みそうだね





<mark>・通常の擁壁と比べ掘削</mark>が少なく済み、大規模な管移設等にかかる費用を削減できます。 (三重県多気郡明和町)

<mark>従来のL型擁壁工法に</mark>は、大型重機が入る事のできない狭い現場や、既存の構造物 が邪魔になる現場では施工ができない等の問題がありました。そこで登場したのが 自立式擁壁(フーチングレス・パネル=FP)工法です。

<mark>底版 (フーチング) を持</mark>たないため施工時の自由度が高く、掘削幅の取れない現場 にも有効です。

特徴 2 地盤のあまり良くない現場では経済的です。

L型擁壁では、地盤支持力が不足している 場合、基礎杭打ち込み等の地盤改良をしな ければいけません。本工法は、柱状地盤改 良体に鋼管杭を建て込み擁壁化するため、 N値3程度以上の地盤で施工可能です。





特徴・狭い現場での施工が可能

パネルがL型擁壁等よりも軽量の為、今 <mark>まで大型重</mark>機が入れなくて施工できな かった現場に最適です。







水田のような軟弱地盤でも対応可能で経済的な工事が可能です。(三重県木曽岬町)

簡略化された作業手順

柱状地盤改良体に鋼管杭を立て込み、地上部に突出した鋼管部にコンクリートパネルをセットして自立式擁壁を構築するものです。

設計条件として、一般的なL型擁壁と同様に上載荷重10KNを想定し、土の単位体積質量や内部摩擦角度に応じて安定計算をいたします。

軟弱地盤や、埋設物に支障を与える事のできない切り土の現場には最適です。

印床付・杭芯位置出し



3鋼管建込



5パネル設置



2柱状地盤改良体築造



4均しコンクリート



6中詰コンクリート



■標準施工機械



①リーダレス式地盤改良機 柱状地盤改良体築造 ②16 t ラフテレーンクレーン 鋼管建込、パネル設置、資材荷役



③スラリープラント(4tトラック上) セメントミルク製造、圧送

地盤改良機は現場条件に合わせて0.25㎡~0.7㎡ベースの機械を選定します。 施工帯幅は最小3.5m程度から施工可能です。 N値30超の硬質地盤や玉石混じり層等がある場合は別途対策が必要となります。

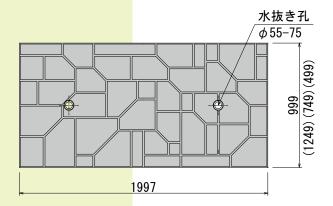


高速道路IC出入口の拡幅で使用した例。 (岐阜県多治見市)

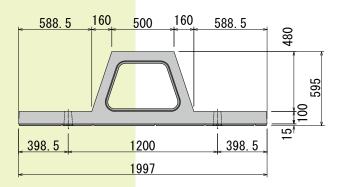


曲線部で天端にプレキャスト防護柵基礎を設置した例。 (岐阜県多治見市)

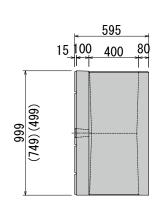
寸法図



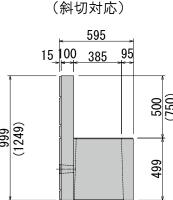
I 型



標準用

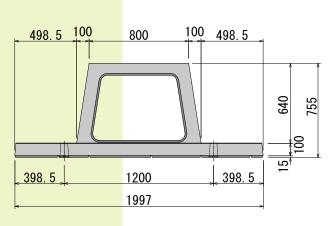


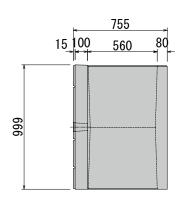
天端用 (斜切対応)



I型標準500は水抜孔はありません

Ⅱ型



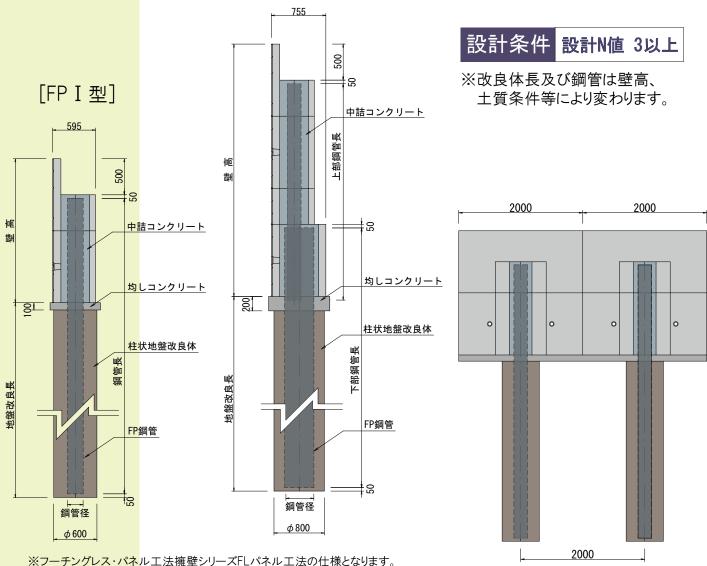


呼び	寸 法(mm)	参考質量(kg)
I型 標準500	499×595×1997	447
I型 標準750	749×595×1997	670
I型 標準1000	999×595×1997	893
I型 天端1000	999/500×595×1997	716
I型 天端1250	1249/750×595×1997	845
Ⅱ型 標準1000	999×755×1997	1098

標準施工図

単位 (mm)

[FP I 型, II 型]



※フーチングレス・パネルエ法擁壁シリーズFLパネル工法の仕様となります。 建設技術審査証明及び大臣認定擁壁の仕様とは異なります。



宅地造成で使用した例。(愛知県刈谷市内)狭い現場でも土砂の移動が最小限で済み、トータルコスト縮減に貢献できました。

